



## 施策の総合評価／今後の方向性

進捗状況 (ベンチマークイング)	● 施策の進捗状況(要因) ●目標達成度	(施策の進捗状況) C:やや遅れている	高齢者の増加、就労年齢の上昇、事業の魅力及び施設のP.R不足などが考えられるため、毎年実施している講座等の見直しや新規講座、創意工夫した自主事業等の企画、施設利用方法（通年子ども学習室、コミュニケーションスペース、個人教育活動等）や施設のあり方、民間企業等と連携した更なる促進、交流目的の販売活動等の積極的な活用等について検討し、目標達成に向けて努力していく。
手段の最適性	●市が関与する必要性 ●市民ニーズとの整合性 ●目的への寄与度、貢献度 ●事業内容・構成の妥当性	生涯学習の学びをすることで生活に様々な楽しみや生きがいを持つことができる、新しいコミュニティを形成することができる、視野が広がる、豊かな老後につながるなど学びを通じてひとつになり、つながりづくり、地域づくりに活かすことが重要であることから市民のニーズを把握し、事業の見直しなどを行い身近で魅力のある事業を企画して市民の満足度を高めていきたい	
経営資源の配分 (優先順位づけ)	●コスト削減の方向性 ●事業の重点化、重心化	災害の避難場所（所）にもなっていることや施設利用者の安心安全に使用していただくために施設の充実を図っていく必要がある。また、建築年数が古い施設が多く、今後の維持管理費が増大することが予想されるため、利用状況などを考慮しながら今後のあり方について検討する必要がある。	
役割分担の妥当性	●共創のまちづくりに向けた多様な主体との連携、方向性	各地域公民館単位で組織されている地域づくり推進委員会など地域活性化や地域の課題解決に向けて、共創のまちづくりに向けた取り組みを継続していく必要がある	
SDGsの視点	●該当ゴールへ向けた方向性 ●社会・環境・経済の調和	教育・持続可能な都市・実施手段・パートナーシップの視点から見て、実施手段・パートナーシップが重要である。誰一人取り残さないようにDX化を進め生涯学習の推進を図っていく必要がある	

## 「目標達成に向けた取組内容」の成果と今後の方針

施策評価シート	評価対象年度	2023年度	計画3年目	この施策を記入する課等	文化スポーツ課																								
	評価者	社会共創部長		担当者	文化スポーツ課長		担当者																						
	評価者			担当者			担当者																						
基本目標 4	一人ひとりが学び、高め合うまち																												
基本施策 7	文化・芸術・スポーツ活動に熱心なまちづくり																												
施 策 13	文化・芸術・交流活動の推進と継承																												
施 策 の 目指す姿	地域の歴史・文化や芸術を市民が学び、親しみ、活躍するまちを目指します。																												
SDGsとの関連	(目標)	貧困	飢餓	保健	教育	ジェンダー	水・衛生	エネルギー	経済成長・雇用	インフラ・産業化・イノベーション	不平等	持続可能な都市	持続可能な生産と消費	気候変動	海洋資源	陸上資源	平和	実施手段・パートナーシップ											
																													
成果指標	指標名					単位	現状値(年度)	実績値		目標値(2025)	達成率	達成率の主な要因等																	
	「生涯学習・文化芸術・歴史を大切にしたまちづくりの推進」の満足度					%	33.9 (2019)	35	(意識調査'23)	50	70	コロナ禍での余暇の楽しみ方として文化芸術等に触れる機会があり、向上したのではないかと思われる																	
	「生涯学習・文化芸術に親しみ、地域のみなさんと一緒に活動に取り組んでいる」人の割合					%	18.4 (2019)	20.6	(意識調査'23)	30	68.7	コロナ禍での行動制限や活動自粛が要因の一つかと思われる																	
	「地域の伝統行事に参加するなど、文化の継承に取り組んでいる」人の割合					%	20.6 (2019)	20.4	(意識調査'23)	30	68	コロナ禍での行動制限や活動自粛が数値低下の要因の一つかと思われる																	
プロセス指標	達成率評価	指標名			単位	現状値(年度)	実績値		目標値(2025)	達成率	達成率の主な要因等																		
	C	機能分散型総合博物館入館者数			人	32,584 (2019)	18,140			50,000	36.3	コロナ感染症の行動制限も解除され、各種展示事業も再開してきたが、消費行動の慎重姿勢の残存や、物価上昇に伴う実質的な所得の減少の影響もあり、入館者の回復には至っていないと考えられる。																	
	C	メセナホール入館者数			人	81,170 (2019)	57,194			90,000	63.5	コロナ感染症の行動制限も解除され、各種イベントや公演も再開してきたが、消費行動の慎重姿勢の残存や、物価上昇に伴う実質的な所得の減少の影響もあり、入館者の回復には至っていないと考えられる。																	
								</																					

## 施策の総合評価／今後の方向性

進捗状況 (ベンチマークリング)	●施策の進捗状況(要因) ●目標達成度	(施策の進捗状況) C:やや遅れている	コロナ感染症の行動制限も解除され、各種展示事業も再開してきたが、消費行動の慎重姿勢の残存や、物価上昇に伴う実質的な所得の減少の影響もあり、文化芸術・歴史に触れることができる所管施設の入館者数も回復には至っておらず、目標達成には至っていない。
手段の最適性	●市が関与する必要性 ●市民ニーズとの整合性 ●目的への寄与度、貢献度 ●事業内容・構成の妥当性	歴史的、伝統的有形・無形の文化遺産を保存し、かつ、その活用を図り、もって市民文化の創造の糧とし、後世に伝承するため、郷土の財産として個人ではなく公として行政が関わり、推進する必要がある。	
経営資源の配分 (優先順位づけ)	●コスト削減の方向性 ●事業の重点化、重心化	文化財の経年劣化は避けられないものであり、維持管理、保存活用には費用を要してしまうが、文化財保護法や各種財源の確保活用を念頭に置きつつ、優先順位付けをしコスト縮減を心がけていく。	
役割分担の妥当性	●共創のまちづくりに向けた多様な主体との連携、方向性	市内各地域で受け継がれる文化財や伝統行事の担い手を確保しながら受けついていただいているとともに、郷土の財産として後世に伝承すべきものは、行政が維持管理・保存活用を推進するなど、それぞれの役割を担い、必要がある。	
SDGsの視点	●該当ゴールへ向けた方向性 ●社会・環境・経済の調和	全ての人に公平で質の高い教育を提供し、文化芸術・歴史に触れる機会を設けています。(目標4) 全ての人が文化芸術を含めたイフラを利用できることをめざします。(目標9)	

## 「目標達成に向けた取組内容」の成果と今後の方向性



## 施策の総合評価／今後の方向性

進捗状況 (ベンチマーキング)	●施策の進捗状況(要因) ●目標達成度	(施策の進捗状況) B:概ね順調	コロナが5類に移行したこと、大会の開催や、個人での活動がふえたことで、スポーツが生活の一部となってきている。2028年国民スポーツ大会は、当市でトランポリン競技が開催されることから、更なるスポーツ振興のため推進をしてみたい。
手段の最適性	●市が関与する必要性 ●市民ニーズとの整合性 ●目的への寄与度、貢献度 ●事業内容・構成の妥当性	スポーツによる健康への効果は多面的であり（血液循环がよくなる・心疾患の危険性を減らす・高血圧の予防改善・筋力を増す・体重コントロールに有効である・骨量減少を防止する・睡眠障害を改善する・心理的緊張を緩和す）、生活習慣病を予防する医学的効果や体力向上などの効果があることからも積極的に推進する必要がある。	
経営資源の配分 (優先順位づけ)	●コスト削減の方向性 ●事業の重点化、重心化	施設管理費の軽減のため、地代が高額であった米持マレットゴルフ場を廃止した。	
役割分担の妥当性	●共創のまちづくりに向けた多様な主体との連携、方向性	住民が主体的に運営するスポーツ団体が行う地域におけるスポーツの振興のための事業への支援、住民が快適にスポーツを行い相互に交流を深めることができるスポーツ施設の整備に努めていく。	
SDGsの視点	●該当ゴールへ向けた方向性 ●社会・環境・経済の調和	ライフステージに応じたスポーツ活動により健康な生活を営む	

## 「目標達成に向けた取組内容」の成果と今後の方向性